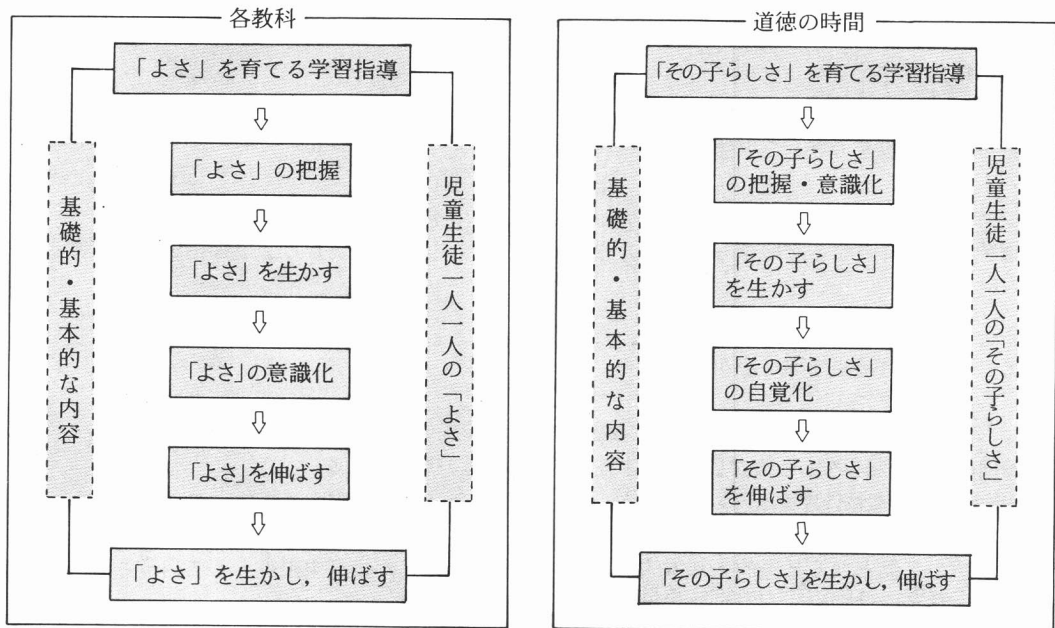


〈図2〉 「よさ」や「その子らしさ」を育てる学習指導の基本型



をみつめる視点」として有効に働くような学習場面を設定していく。

○ 「その子らしさ」を伸ばす

道徳の時間で育てていく道徳的実践力は、内面的資質を意味しており、生活の中で道徳的実践となって表れその高まりが確かめられる。したがって、自分を深くみつめ、自覚された「その子らしさ（自分らしさ）」は、日々の生活の中で発揮され反すうされて伸ばされていくものと考えられる。

5 本年度の研究

本研究も最終年次を迎えたが、本年度は教科における実践研究と並行して5年間の研究のまとめをした。

本年度の実践研究のまとめについては「Ⅱ 小学校体育科における実践研究」で、5年間の研究のまとめについては「Ⅲ 研究のまとめ」で述べる。なお、本研究は「基礎・基本の定着と個性の伸長」という主題のもとで、毎年教科等を変えて実践し、詳細にまとめてきた。したがって、それ

ぞれの教科と道徳の研究内容については、各年次の研究紀要を参照されたい。

(1) 研究教科と実践研究の方向

本年度は、小学校体育科について研究協力校（福島市立平野小学校 4年生）との連携を図りながら実践研究を進めた。その際、前年度の研究成果についての検討結果をもとに、研究内容、方法をより深める方向で、次のような課題を持って実践研究にあたった。

○ 把握した「よさ」が児童一人一人の意識化に有効につながるような手だてを考える。

○ 技能教科の特性を踏まえた「よさ」を生かす学習指導の在り方、更に指導計画と学習形態を一層工夫する。

(2) 5年間の研究のまとめ

各年次に実践研究してきた教科と道徳の研究内容を見つめながら、「よさ」や「その子らしさ」を育てる学習指導の各段階で試みてきた手だてを洗い出してまとめた。そして、5年間の研究を振り返り、各年次の主な研究の成果をまとめた。